平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　株式会社スズケン　　上場取引所　東 名 札
コード番号　9987　URL　http://www.suzuken.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 太田　裕史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 鷲見　守　TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	919,587	1.5	322	―	8,129	13.9	1,017	△69.0
24年3月期第2四半期	905,863	6.3	△394	―	7,138	△25.6	3,279	△36.1

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,475百万円　(△49.2%)　24年3月期第2四半期　2,902百万円　(△27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.29	―
24年3月期第2四半期	36.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	946,844	288,919	30.5
24年3月期	972,076	289,759	29.8

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　288,653百万円　24年3月期　289,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	25.00	―	25.00	50.00
25年3月期	―	25.00			
25年3月期(予想)			―	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,914,000	2.9	13,410	77.5	29,210	26.3	14,000	73.9	155.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	93,949,167 株	24年3月期	93,949,167 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,804,248 株	24年3月期	3,803,650 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	90,145,173 株	24年3月期2Q	90,151,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかに回復しつつあるものの、世界景気の減速懸念や円高の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療用医薬品市場におきましては、平成24年４月に実施された薬価基準の引下げ（長期収載品の追加引下げを含む平均 6.25%）の影響があるものの、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤や新薬等の寄与により、緩やかながら伸長したものと推測しております。しかしながら、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループは適正な利益を確保し競争力を高め多様なニーズに応えるため、あらゆる構造改革を推進しております。喫緊の課題は「コスト構造改革」であると考え、当社及び当社子会社２社（㈱スズケンロジコム、秋山物流サービス㈱）において、平成24年９月30日を退職日とする希望退職者の募集を行いました。694名の応募に伴い、特別一時金等の発生により、特別損失として49億78百万円を計上いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,195億87百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は３億22百万円（前年同期は３億94百万円の営業損失）、経常利益は81億29百万円（前年同期比13.9%増）、四半期純利益は10億17百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位:百万円未満切捨）

セグメントの名称		平成24年３月期 第２四半期累計期間	平成25年３月期 第２四半期累計期間	増減率（%）
医薬品卸売事業	売　上　高	863,015	873,779	1.2
	営業損失(△)	△5,248	△2,621	―
医薬品製造事業	売　上　高	31,914	33,470	4.9
	営 業 利 益	2,054	1,597	△22.3
保険薬局事業	売　上　高	36,991	37,579	1.6
	営 業 利 益	1,921	1,116	△41.9
医療関連サービス等事業	売　上　高	11,104	12,129	9.2
	営 業 利 益	499	175	△64.9

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き業界をあげて流通改善に取組んでおります。日本医薬品卸業連合会は、流通改善を実現するために、契約条件の事前明示と覚書締結による確認、単品単価取引の励行の推進等を声明として発表しております。

当社グループにおきましても、日本医薬品卸業連合会の取組方針に基づき、個々のお得意さまごとに単品単価取引を原則とし、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉に努めております。

また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応するため、ＬＳ（Logistics Sales：主に保険薬局を専門に担当する営業担当者）を本格導入するなど構造改革を実践し、強い物流機能の確立とお得意さまに提供するサービスの最適化に取組んでおります。

売上高につきましては、市場が伸長したことに加え、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動を徹底したこともあり、堅調に推移いたしました。利益につきましては、適正な利益の確保に向けた取組みを強化したことにより一定の改善はみられたものの、依然として厳しい状況となりました。

この結果、売上高は8,737億79百万円（前年同期比1.2%増）、営業損失は26億21百万円（前年同期は52億48百万円の営業損失）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価額としております。

(医薬品製造事業)

主力製品である糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の売上高は、４億91百万円増の91億39百万円（前年同期比5.7%増）となりました。また、興和㈱と共同開発してきました、２型糖尿病治療剤であるＤＰＰ－４阻害剤「スイニー錠100mg（一般名：アナグリプチン）」の製造販売承認を平成24年９月28日付で取得したことに伴い、マイルストーン収入を計上いたしました。一方、「セイブル錠」の業務委託費の増加や、高尿酸血症・痛風治療薬「ＦＹＸ－051（一般名：トピロキソスタット）」の製造販売承認申請に伴うライセンス料の支払等により、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は334億70百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は15億97百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

(保険薬局事業)

管理業務の集約化や在庫管理の強化を実施し業務の効率化に努めてまいりましたが、６年制教育課程導入のため３年ぶりとなる新卒薬剤師の採用も含めた薬剤師の確保により、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は375億79百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は11億16百万円（前年同期比41.9%減）となりました。

(医療関連サービス等事業)

主に、中国地方で介護事業を営むサンキ・ウエルビィ㈱において、グループホームや小規模多機能センターで利用者が増加いたしました。また、さらなる地域密着サービスの強化に向けて、介護従事者の確保や新規開設に取組んでまいりました。

この結果、売上高は121億29百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は１億75百万円（前年同期比64.9%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ252億31百万円減少し、9,468億44百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ229億99百万円減少いたしました。これは主に投資信託等の取得により有価証券が195億３百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が243億58百万円、現金及び預金が85億41百万円減少したこと及び商品及び製品が61億74百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22億32百万円減少いたしました。これは主に岡山物流センターの建設（平成24年11月完成予定）やＢＣＰ（事業継続計画）対策等により有形固定資産が９億93百万円増加したものの、ソフトウエア等の減価償却に伴い無形固定資産が17億９百万円、投資その他の資産が15億16百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ243億92百万円減少し、6,579億25百万円となりました。これは主に直近の仕入高の減少等により支払手形及び買掛金が247億76百万円減少し、流動負債が247億57百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ８億39百万円減少し、2,889億19百万円となりました。これは主に四半期純利益10億17百万円の計上及び保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金の７億98百万円増加があったものの、剰余金の配当を22億53百万円支払ったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間につきましては、主に医薬品卸売事業において、売上高は予想を下回ったものの、適正な利益の確保に向けた取組みを強化したことや、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、営業利益、経常利益は予想を上回りました。一方、四半期純利益は、希望退職者募集による特別損失の計上に伴い、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、子会社の一部の繰延税金資産が計上できないと判断したことにより法人税等が増加したため、予想を下回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成24年９月14日に公表いたしました予想数値を据え置いております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,389	110,848
受取手形及び売掛金	448,739	424,380
有価証券	5,791	25,294
商品及び製品	122,203	116,028
仕掛品	4,785	4,716
原材料及び貯蔵品	1,899	1,985
その他	37,655	33,889
貸倒引当金	△3,084	△2,761
流動資産合計	737,379	714,380
固定資産		
有形固定資産	106,713	107,706
無形固定資産		
のれん	955	661
その他	26,246	24,830
無形固定資産合計	27,201	25,492
投資その他の資産	100,782	99,265
固定資産合計	234,696	232,464
資産合計	972,076	946,844

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,153	610,376
短期借入金	587	537
未払法人税等	6,536	3,812
返品調整引当金	431	384
賞与引当金	7,746	7,281
その他	13,422	16,729
流動負債合計	663,878	639,121
固定負債		
長期借入金	462	378
退職給付引当金	4,401	4,274
役員退職慰労引当金	599	526
その他	12,974	13,624
固定負債合計	18,438	18,803
負債合計	682,317	657,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	248,446	247,145
自己株式	△12,064	△12,066
株主資本合計	288,825	287,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,684	7,482
土地再評価差額金	△6,001	△6,001
為替換算調整勘定	△1	△350
その他の包括利益累計額合計	681	1,131
少数株主持分	252	265
純資産合計	289,759	288,919
負債純資産合計	972,076	946,844

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	905,863	919,587
売上原価	826,787	837,792
売上総利益	79,075	81,795
返品調整引当金戻入額	448	431
返品調整引当金繰入額	392	384
差引売上総利益	79,132	81,843
販売費及び一般管理費	79,527	81,520
営業利益又は営業損失（△）	△394	322
営業外収益		
受取利息	360	355
受取配当金	465	612
仕入割引	3,387	3,728
受入情報収入	2,350	2,429
その他	1,201	875
営業外収益合計	7,765	8,003
営業外費用		
支払利息	28	12
不動産賃貸費用	116	130
その他	86	53
営業外費用合計	231	196
経常利益	7,138	8,129
特別利益		
固定資産売却益	47	3
投資有価証券売却益	34	17
罹災商品補償額	644	－
保険解約返戻金	233	－
補助金収入	2	13
その他	114	4
特別利益合計	1,076	39
特別損失		
固定資産除売却損	668	194
減損損失	86	24
災害損失	98	－
特別退職金	4	4,978
その他	95	132
特別損失合計	953	5,329
税金等調整前四半期純利益	7,261	2,838
法人税等	3,968	1,813
少数株主損益調整前四半期純利益	3,292	1,025
少数株主利益	12	7
四半期純利益	3,279	1,017

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,292	1,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△393	798
為替換算調整勘定	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△350
その他の包括利益合計	△390	450
四半期包括利益	2,902	1,475
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,888	1,467
少数株主に係る四半期包括利益	13	8

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,261	2,838
減価償却費	5,036	5,947
減損損失	86	24
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△609	△334
退職給付引当金の増減額（△は減少）	463	431
その他の引当金の増減額（△は減少）	△645	△587
受取利息及び受取配当金	△826	△968
支払利息	28	12
固定資産除売却損益（△は益）	620	190
投資有価証券売却損益（△は益）	△12	△17
災害損失	98	－
特別退職金	4	4,978
売上債権の増減額（△は増加）	△23,514	24,382
たな卸資産の増減額（△は増加）	15,037	6,165
仕入債務の増減額（△は減少）	△16,242	△24,806
その他	2,777	4,410
小計	△10,434	22,667
利息及び配当金の受取額	838	1,193
利息の支払額	△28	△12
災害損失の支払額	△70	－
特別退職金の支払額	△10	△146
法人税等の支払額	△3,849	△6,033
法人税等の還付額	1,544	562
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,009	18,231

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,458	△3,258
定期預金の払戻による収入	2,951	2,551
有価証券の売却及び償還による収入	5,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△4,871	△5,049
有形固定資産の売却による収入	324	81
無形固定資産の取得による支出	△3,556	△1,327
投資有価証券の取得による支出	△7,094	△2,453
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,766	25
子会社株式の取得による支出	△3	△11
その他	932	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,609	△6,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2	－
長期借入れによる収入	25	－
長期借入金の返済による支出	△36	△135
リース債務の返済による支出	△108	△143
割賦債務の返済による支出	△46	△24
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,795	△2,253
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,961	△2,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△22,595	8,762
現金及び現金同等物の期首残高	68,776	114,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,180	123,422

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

前第２四半期連結累計期間(自平成23年４月１日　至平成23年９月30日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品卸売事業	医薬品製造事業	保険薬局事業	医療関連サービス等事業	
売上高					
外部顧客への売上高	850,202	9,985	36,990	8,684	905,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,813	21,928	0	2,419	37,161
計	863,015	31,914	36,991	11,104	943,025
セグメント利益又は損失(△)	△5,248	2,054	1,921	499	△772

２.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△772
セグメント間取引消去	377
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△394

３.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間(自平成24年４月１日　至平成24年９月30日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品卸売事業	医薬品製造事業	保険薬局事業	医療関連サービス等事業	
売上高					
外部顧客への売上高	859,855	12,844	37,578	9,309	919,587
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,923	20,626	1	2,820	37,371
計	873,779	33,470	37,579	12,129	956,959
セグメント利益又は損失(△)	△2,621	1,597	1,116	175	267

２.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	267
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	322

３.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。